

2025 年度 部局 FD 活動報告

国際基幹教育機構

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）		
<p>機構内教育改革委員会（副機構長、大学教育 G から 4 名、その他の教員 G から 3 名）を設置している。高等教育研究開発センターが主催する全学 FD 以外の機構内 FD は、教員所属 G 単位または科目委員会単位で検討・実施されている。機構内教育改革委員会は、FD 実施計画と実施状況のとりまとめを行っている。</p>		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
<b>【人権 G】</b>		
2025 年 8 月 25 日	人権問題研究センター共催 工学 FD セミナー・全学 FD セミナー 「研究室等におけるハラスメント事例とその対策」	222名
2026 年 3 月 10 日	人権問題研究センター共催 アクセシビリティセンター主催 FD/SD 研修「権利保障としての合理的配慮」	118名
<b>【大学教育 G】</b>		
12 月 23 日	初年次ゼミナール説明会	79人
11 月 5 日	第 2 回初年次ゼミナール実践事例共有会（高等教育研究開発センター主催・全学 FD）で、初年次ゼミナールの実践事例 2 件の共有と次年度以降の科目改編の説明を行い、質疑や全体討論も行った。	75人
<b>【教職 G】</b>		
2025 年 12 月 9 日	教職 FD セミナー（教職センター主催）	18名
2026 年 2 月 20 日	全学 FD・第 3 回高大接続セミナー（教職センター共催）	65名
<b>【英語 G】</b>		
12 月 23 日	University English 1A・2A カリキュラム改訂説明会	（記録なし）
12 月 8 日	University English B 科目 カリキュラム説明会	（記録なし）
12 月 10 日	University English B 科目 カリキュラム説明会	（記録なし）
<b>【初修外国語 G】</b>		
2025 年 4 月 4 日	ウェビナー「ロシア語の初級および中級レベルでの音声教育方法における擬音語の使用」について	7
<b>【健康・スポーツ科学 G】</b>		
<b>【杉本キャンパス】</b>		
2025 年 4 月 8 日（火） 11 時 45 分～	第 1 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9

2025年4月10日(木) 11時45分～	第2回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)によるFD研修会および授業実施説明会)	11
2025年4月10日(木) 17時45分～	第3回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)によるFD研修会および授業実施説明会)	8
<b>【森之宮キャンパス】</b>		
2025年9月30日(火) 11時45分～	第1回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)によるFD研修会および授業実施説明会)	10
2025年9月30日(火) 16時00分～	第2回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)によるFD研修会および授業実施説明会)	13
2025年10月2日(木) 12時10分～	第3回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)によるFD研修会および授業実施説明会)	9
2025年10月2日(木) 16時00分～	第4回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)によるFD研修会および授業実施説明会)	10
<b>【数学G】</b>		
8月20日	数学FDミーティング(成績評価について)	約40
3月1日(2日)	数学FDミーティング(成績評価について, 他・予定)	約40
<b>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</b>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)～について」「第2回…」と記載)	委員の人数
<b>【人権G】</b>		
HR(人権)副専攻担当者会議	前期、後期が始まる前に計画した教育方法・教育内容について、学生の理解や関心に合わせて改善するため、各回の授業後に検討会を行った。(計5回程度)	2名
<b>【大学教育G】</b>		
大学院共通教育科目委員会	メール会議(10月18日～22日)で、機構内自己点検評価に関する大学院の必修科目とキャリアに関わる事項を検討し、機構内教育改革委員長に報告した。	4人
初年次教育科目委員会	メール会議にて、昨年度開講科目の教学アセスメントを行った他、2026年度からの開講形態変更に合わせて「実施の手引き」の改訂について審議をした。	4人
<b>【教職G】</b>		
教職グループ会議(4月)	4月25日; 議題「今年度のFD活動の計画について」	5名
教職センター会議(第3回)	7月15日; 「点検評価の指標・エビデンスリスト」(教職センター案)の確定	10名
<b>【英語G】</b>		
英語科目委員会	第1回(4月11日)授業・カリキュラム運営について	15

会議		
英語科目委員会 会議	第2回（5月9日）授業・カリキュラム運営について	13
英語科目委員会 会議	第3回（6月14日）授業・カリキュラム運営について	14
英語科目委員会 会議	第4回（7月11日）授業・カリキュラム運営について	14
英語科目委員会 会議	第5回（9月12日）授業・カリキュラム運営について	15
英語科目委員会 会議	第6回（10月3日）授業・カリキュラム運営について	13
英語科目委員会 会議	第7回（11月7日）授業・カリキュラム運営について	13
英語科目委員会 会議	第8回（12月5日）授業・カリキュラム運営について	13
英語科目委員会 会議	第9回（1月9日）授業・カリキュラム運営について	13
英語科目委員会 会議	第10回（2月16日）授業・カリキュラム運営について	12
カリキュラム改 訂委員会	第1回（4月18日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第2回（4月30日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第3回（5月7日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第4回（5月14日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第5回（5月21日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第6回（5月28日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第7回（7月30日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	
カリキュラム改 訂委員会	第8回（9月5日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第9回（10月1日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改 訂委員会	第10回（10月3日）UE1A・2A カリキュラム改訂について	4

カリキュラム改訂委員会	第11回(12月17日) UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改訂委員会	第12回(1月7日) UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改訂委員会	第13回(1月19日) UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改訂委員会	第14回(2月2日) UE1A・2A カリキュラム改訂について	
カリキュラム改訂委員会	第15回(2月10日) UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改訂委員会	第16回(2月13日) UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
カリキュラム改訂委員会	第17回(2月18日予定) UE1A・2A カリキュラム改訂について	4
<b>【初修外国語 G】</b>		
ロシア語科目の会議	2025年4月4日に、ロシア語ミーティングを実施した。2024年度のロシア語授業の経験や意見を交換し、2025年度のロシア語教育の授業の計画と変更について討議した。	8
<b>【特例科目 G】</b>		
特例科目委員会	第1回(6月17日)：以下について審議・報告を行なった。 ・審議：2026年度の時間割編成(科目新設・科目名変更)、2025年度FD実施計画 ・報告：OSIP事業、2025年度前期の受講者数、特別履修生受入れ状況等 第2回(9月26日)：新設する科目の申請書およびシラバス案について 第3回(10月9日)：教学アセスメントについて 第4回(2月10日)：FD実施報告について	2
教育推進課国際教育担当との協議	4月23日 2025年度以降の初級日本語教育の体制について 7月25日 2025年度後期の「日本語補講」の体制について 8月28日 2025年度後期の「日本語補講」の実施について 2月3日 2025年度後期および2026年度以降の「日本語補講」の体制について	6
留学生就職促進教育プログラム(留プロ)担当者との協議	7月30日 留プロに提供する日本語科目・プログラムについて 1月6日 留プロに提供する日本語科目・プログラム(中級レベル)について	4
<b>【健康・スポーツ科学 G】</b>		
健康・スポーツ科学 科目	第1回(5月21日) 2025年度FD実施計画について、その他 第2回(6月18日) 健スポ演習開講に向けた意見交換、2026年度時間割	10

委員会	<p>について、その他</p> <p>第3回（7月16日）インクルーシブスポーツコース授業シナリオについて、2026年度以降健スポ演習非常勤任用方針について、その他</p> <p>第4回（9月17日）健康キャンパス・プロジェクトについて、同一年度内再履修ならびに工学部編入生対象実習コマについて、その他</p> <p>第5回（10月15日）授業備品等について、教学アセスメントについて、その他</p> <p>第6回（11月19日）2026年度入学生用科目要覧について、スポーツ教育施設の課外活動における使用について、その他</p> <p>第7回（12月17日）健スポ演習新規非常勤教員任用について</p> <p>2026年度健スポ演習時間割（案）ならびにシラバス（案）について、その他</p> <p>第8回（1月21日）演習開講に向けた進捗の共有について、アリーナ使用ルールについて、その他</p> <p>第9回（2月18日）演習開講に向けた進捗の共有について、その他</p> <p>第10回（3月18日）2026年度健康・スポーツ科学科目の開講方針および評価方針についての検討、その他</p>	
教務担当教員会議	<p>第1回（7月7日）2025年度後期開講科目について、インクルーシブスポーツクラスの授業シナリオについて、その他</p> <p>第2回（7月31日）2025年度後期実習開講に際する調整事項について、演習の開講方針について、その他</p> <p>第3回（9月2日）2025年度後期実習備品の配置、格納について、その他</p> <p>第4回（9月25日）2025年度後期実習ガイダンス、体力測定実施方法について、その他</p> <p>第5回（11月27日）2026年度健康・スポーツ科学演習新規非常勤任用方針について、2026年度健康・スポーツ科学演習時間割（案）ならびにシラバス（案）について</p> <p>第6回（12月4日）2026年度シラバス（案）について、新入生ナビ案内ページならびに掲載動画について、2026年度健康・スポーツ科学演習授業ならびに授業外学修方針について、その他</p> <p>第7回（12月18日）2026年度健康・スポーツ科学演習授業ならびに授業外学修方針について、その他</p> <p>第8回（1月8日）2026年度健康・スポーツ科学演習授業ならびに授業外学修方針について、その他</p> <p>第9回（1月22日）2026年度健康・スポーツ科学演習授業ならびに授業外学修方針について、その他</p> <p>第10回（2月18日）2026年度健康・スポーツ科学演習授業ならびに評価方法について、その他</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>7</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>
カリキュラム編成にかかる	<p>2025年5月23日（金）16時00分～17時00分</p> <p>2026年度以降の健康・スポーツ科学実習の演習化に向けた開講方針につ</p>	10

意見交換会	いて、その他	
<b>【数学 G】</b>		
数学科目委員会	第 1 回：来年度の時間割について 2026 年度入学からの各学部・学域のカリキュラム変更とそれに伴う要望について・来年度の TA 配置について・6/25	7
数学科目委員会	第 2 回：工学部からの 2 年次科目への要望に対する回答案(解析・統計)の審議・8/7	7
<b>【物理学 G】</b>		
物理学分野会議 (なかもず地区)	第 1 回 (4月3日)、第 2 回 (5月8日)、第 3 回 (6月5日)、第 4 回 (7月3日)、第 5 回 (8月7日) 各回とも、非常勤講師手配を含む物理学科目(講義・実験)の運営、森之宮キャンパスへの移転準備等について検討。	4人
物理学分野会議	第 1 回 (10月27日)、第 2 回 (12月1日)、第 3 回 (1月26日)、第 4 回 (3月2日) 各回とも、非常勤講師手配を含む物理学科目(講義・実験)の運営等について検討。	5人
<b>【化学 G】</b>		
化学グループミーティング	「第 1 回 (4月21日) 工学・理学のカリキュラム改定案, および基礎化学実験新指導書の業者について」 「第 2 回 (5月19日) 基礎化学実験新指導書の業者へのデータ引渡しについて」 「第 3 回 (6月23日) 工学部と医学科, 理学部化学科はカリキュラム変更, および基礎化学実験新指導書の校正について」 「第 4 回 (7月21日) 基礎化学実験新指導書のサイズ確認について」 「第 5 回 (9月22日) 森之宮での出席確認方法, および生成AIの教員向けガイドラインについて」 「第 6 回 (10月20日) 定期試験不正発生時の連携方法, および教育研究用有償ソフト費用負担制度について」 「第 7 回 (11月17日) 基礎化学実験新指導書の二稿修正について」 「第 8 回 (12月15日) 基礎化学実験新指導書の三稿修正について」 「第 9 回 (1 月 19 日) 生成 AI の利活用に関する職員向けガイドライン, および基礎化学実験新指導書の最終チェックについて」	5
<b>【キャリアデザイン G】</b>		
高度人材育成推進センター定例会議	第 1 回(4月 11 日)アドバイザー委員会運営要領の一部改正について、他 第 2 回(5 月 23 日) 高度人材育成推進センターのイベント・プログラム、他 第 3 回(6 月 27 日) 高校生起業家教育講座概要、他 第 4 回(7 月 18 日) リーディングプログラム関連報告、他	教職員合計 23 名 23 名 20 名 23 名

	第5回(8月22日) Fledge プログラム関連報告、他	24名
	第6回(9月27日) FInD・Fledge プログラム事業状況、他	19名
	第7回(10月24日) アイデア創出ワークショップ関連報告、他	23名
	第8回(11月21日) ビジネスアイデアコンテスト関連報告、他	21名
	第9回(12月19日) 学術交流協定の継続および新規締結について、他	21名
	第10回(1月23日) 総合教養科目国際活動とキャリア E・F・G について、他	22名
	第11回(2月20日) ニューメキシコ大学ダブルディグリー調印式報告、他	22名
	第12回(3月27日) 国際活動とキャリア報告、他	20名
リーディング大学院プログラム教員・メンター会議	第1回(1月27日) SiMS 特別研究(研究室ローテーション)の運用方針、他	3名
	第2回(3月12日) SiMS 特別研究の実施申請書改訂方針決定、他	4名

#### 4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組

##### 【大学教育 G】

##### <大学教育 G>

・大学教育 G メンバーは、高等教育研究開発センターの専任研究員として、多様な全学 FD の企画・運営を担当するとともに、他部局の部局 FD 等の支援を行った。(高等教育研究開発センターの FD 関連業務については、別途報告予定。)

・大学教育 G メンバーを含む高等教育研究開発センター研究員が同センターにおける本学の教育改善・FD や教学 IR の事業の推進に活かすことを目的として、同センター会議の内の3回(10/3、11/7、2/6)において、兼任研究員個人や所属部局の教育実践・改善事例についての報告・質疑・議論を行った。

##### <初年次教育科目委員会>

・昨年度に引き続き、教育推進課のポータルサイトに、初年次ゼミナール専用ページを設置し、各種情報を集約して、担当教員がアクセスしやすくした。

・初年次ゼミナール担当教員と受講生へのアンケート調査を実施した。またアンケート結果は、「大阪公立大学大学教育」第4巻に資料論文として掲載された。

・2026年度からの初年次ゼミナール開講形態の変更も踏まえて、OMU ラーニングセンターが開発しているレポート執筆やプレゼンの仕方に関する自習用教材の掲載状況の整理を依頼した。

##### 【英語 G】

2025 年度前期 全学共通教育英語科目に関する教員アンケート調査の実施

2025 年度前期 全学共通教育英語科目に関する学生アンケート調査の実施

2025 年度後期 全学共通教育英語科目に関する教員アンケート調査の実施

2025 年度後期 全学共通教育英語科目に関する学生アンケート調査の実施

学生アンケート等から得た情報に基づく非常勤教員への授業運営改善依頼

TOEIC IP 実施結果に関するフィードバックの確認と情報共有

非常勤教員からの授業内容・運営に関する質問・相談への対応

University English 1A・2A 新カリキュラム授業運営情報配信(3月に予定)

### 【人文社会科学 G】

- ・FD 関連の情報をグループの教員会合等にて随時共有し、意見交換をおこなった。
- ・FD セミナー等への積極的な参加や、ピア授業参観の実施を呼びかけた。

### 【教職 G】

教職グループは、全員が教職センターの所員として同センターの活動に参画している。教育実習の事前・事後指導および教職実践演習等については、教員が連携して授業改善に継続的に取り組んでいる。また、各担当者は、教職科目のコア・カリキュラムを反映したシラバスの作成と授業運営に努めている。

### 【初修外国語 G】

#### <朝鮮語>

定期的に朝鮮語教育に関する有益な情報を共有している。またシラバスの検討を含め、教材の活用や「韓国語 WEB 教室」の活用方法、授業進度や評価方法等について、情報を共有すると共に意見交換を行った。

#### <中国語>

全担当者（非常勤講師を含む 39 名）をメンバーとする Teams のチームを作成し、中国語教育の改善に役立つ情報の配信を開始している。Teams の分析機能によると、2025 年 10 月 29 日から 2026 年 1 月 26 日までの 90 日間に「投稿 18、返信 1、リアクション 25、メンション 16」があった。今後も定期的に配信する予定である。

2026 年 3 月 23 日に中国語担当者講師会（Zoom によるオンライン形式）を実施し、本学の中国語教育に関する意見交換を行った。

#### <ロシア語>

2025 年 4 月 4 日のロシア語科目の会議の準備

2025 年 4 月 4 日のロシア語教育の問題に関するウェビナーの準備と実施

Google Classroom プラットフォームおよびメールを通じた非常勤講師とのやり取り:ロシア語科目の重要な変更、お知らせなどについて。2026 年度からは、非常勤講師とのより充実した交流と教育資料の相互交換のために、Teams グループを設立する計画です。

ロシア語科目の学生向けグループの枠組み内で非常勤講師と共有する:補助教材の出版、オンラインコミュニケーションの組織化、文化学習資料の出版。2025 年 3 月 11 日から 2026 年 1 月 31 日まで「ポスト 40、返信 41、リアクション 149、メンション 28」。今後も定期的に配信する予定である。

#### <ドイツ語>

・授業担当者を対象にグーグルフォーム等を使って学期ごとに授業アンケートをとり、授業運営上の課題や問題を分析した。

・非常勤講師も含めてオンライン会議を開催するための準備を進めている（3 月開催予定）。それぞれのクラスやコースに適した教材や授業進度、シラバス記載内容等についての相互チェックと意見交換を行う予定である。

・学期中、授業運営にあたって有益と思われる情報（留学情報含む）を授業担当者間で適宜共有した。

### <フランス語>

- ・非常勤講師を含む全担当者との連絡用にメーリングリストをすでに設置しており、そこから教育改善に関する情報の交換・共有を行った。
- ・トゥール大学大学院から FLE（外国語としてのフランス語教育）専攻の大学院生 2 名を受け入れており、フランス語基礎/会話およびフランス語特修の一部クラスで教育実習を行った。
- ・フランス語クラスで、学生アシスタント（SA）やフランスの交流協定校から受け入れた留学生（日本語学習者）の参加により、学生間交流と学びの活性化を図った。
- ・上記に関連してコミュニケーションツール（Line group）の利用を試行した。
- ・フランス語教員を目指す大学院生に対し、TA や TF の経験に加えて、FLE（外国語としてのフランス語教育）教員養成スタージュ受講を推奨した。
- ・商学部・文学部で行われているル・アーヴル大学との短期交換留学プログラムに関する情報交換会を開催し、プログラム発足の経緯や現在までの運営、ホストファミリー側の視点、参加した学生の声、日仏の学生受入れ体制の違い、今後の課題について報告と意見交換をおこなった。
- ・フランス語教育、その他の外国語教育に関する学会や研究会、シンポジウム、講演会への参加を通じ、教育法や学習者支援、授業改善等についての新しい知見を取り入れることを推進した。

### 【特例科目 G】

- ・森之宮キャンパスへの移転にともない、日本語科目を受講する留学生（特別履修生）の円滑な履修をはかるため、中百舌鳥キャンパスから森之宮キャンパスへの引率および関連教員との顔合わせ、履修指導を行なった（9月24日）

### 【健康・スポーツ科学 G】

- ・各教員が全学 FD 研究会などへ積極的に参加し、FD に対する意識づけを図った。
- ・障がいの有無にかかわらず誰もが参加可能なインクルーシブスポーツコース・レクリエーションコースをひきつづき試験的に開講し、参加学生へのモニタリング、授業内容の検討を行った。
- ・健康・スポーツ科学科目委員会において、2026 年度に開講する健康・スポーツ科学演習の開講方針、授業内容、授業展開、成績評価方法などについて検討を進めた。
- ・スポーツ教育施設の整備、機材の精選などを行い、さらなる授業の質的向上を目指し、学生満足度の高い効果的な授業展開を行うための検討を進めた。
- ・これまでに実施してきたプロジェクト型研究の成果を各授業に適用することで、学生の好奇心の充実を図り、さらに魅力ある授業の展開をめざして活動した。

### 【数学 G】

- ・数学相談室の運営
- ・Moodle・STACK(オンライン数学テスト)のコンテンツ開発・修正
- ・授業担当者への個別相談・指導

### 【物理学 G】

- ・森之宮キャンパスについて、後期から実験ができるよう物理学実験室の環境整備を行なった。
- ・円滑に実験授業が実施できるよう、日々、実験で用いる機器類の保守・管理を行い、その整備状況等に

ついて情報共有を行った。

- ・非常勤講師に対して Moodle の利用方法について教示した。
- ・2024 年度の物理学科目について、教学アセスメントリストに基づき年次点検評価を実施し、報告書を提出した。

#### 【生物 G】

(1) SEL 教室において提供されている接続教育教材について各担当授業（前期中百舌鳥）内にて紹介し、受講者に活用を促した。高等学校における教科内容（範囲、深度）について、担当教員間で共有した。

(2) 成績評価・到達度評価の方法と基準に関して、到達目標・授業科目の概要を共通とする同一科目名のクラス間で、齟齬をきたさぬよう、開講前と成績評価時に打ち合わせと調整の機会をもった。

(3) 2026 年 3 月 4 日に、総合技術課主催の講演会【「理科教育の現在地と課題」－探究の位置づけ、4 領域が目指すもの、国際学力調査の解釈－】に参加し、理科教育の現状と課題について確認する機会を持った。

#### 【地学 G】

機構科目の GPC データなどは理学部地球学教室の教員全員と共有し、FD 活動に役立てていただいた。また合理的配慮学生の学習支援のため、地球学教室の 2～3 名の担当教員と複数回の会議を行い、適切な対応のための相談の機会を設けた。

#### 【キャリアデザイン G】

5月30日 C-ENGINE第12回通常社員総会、講演会

6月3日、6日、12月15日 ダブルディグリープログラム会議

5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)

- ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 (75) 人
- ・所属内の専任教員の人数 (75) 人

6. その他、追記事項

#### 【英語 G】

University English 1A・2A・1B・2B 学生の学修ふり返り (Unit Reflection) 結果の教員別集約および My Showcase を通じたフィードバック実施 (2022 年度より継続。2025 年度実績として、University English 1A・2A において年内計 6 回、同 1B・2B において年内計 7 回実施)

#### 【数学 G】

非常勤講師説明会は、授業担当者説明会として非常勤以外も含む形で年度末に実施予定。

#### 【地学 G】

6 月に作成した計画どおりに実施している。森之宮キャンパス移転後、理数自習のための SEL 教材の活用に関しては、OMU ラーニングセンターのスタッフの皆様の協力を得て実施できた。